

文樂人形小道具圖解

其二十八

齋藤清二郎解說並繪

(轉載)

(不許)

鐵

砲

木製

塗色

製木
寸一尺二長全

すまひ使に腹鎌作彌

針

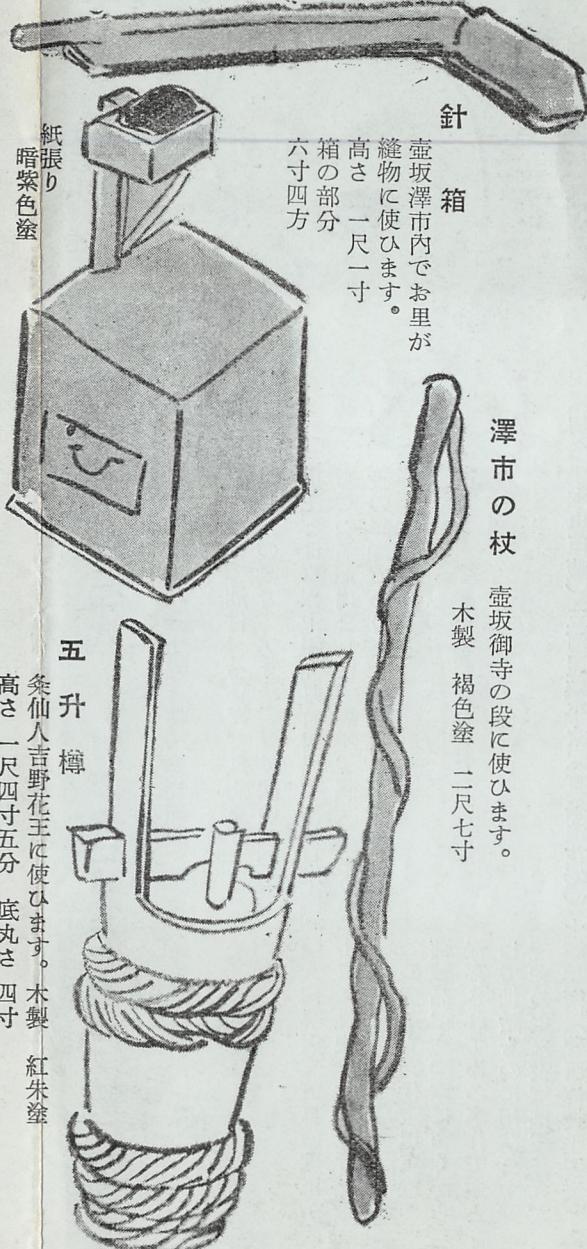
箱

壺坂澤市内でお里が
縫物に使ひます。

高さ一尺一寸

六寸四方

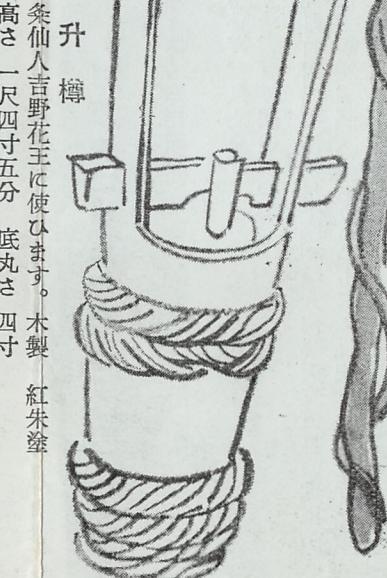
澤市の杖 壺坂御寺の段に使ひます。
木製 楽色塗 二尺七寸



★臣道實踐・職域奉公 ★長期建設

國民精神總動員
舉國一致・義忠報國・堅忍持久

★國を護つた傷兵護れ ★



五升樽 条仙人吉野花王に使ひます。木製 紅朱塗
高さ一尺四寸五分 底丸さ四寸

高朱塗

紙張り
暗紫色塗

前賣切符

一等席指定券に限り五日前より左記場所にて前賣を致します。

四ツ橋畔

文樂

電話南四七壹番

心齋橋筋

京阪案内所

電話南一八三六番

朝日ビル

ブレイガード

電話北九九五番

梅田

阪神ブレイガード

電話北六三番

一等席	三圓五十錢
二等席	一圓五十錢
三等席	六十錢

(御座席三十錢上り)
(各等入場稅別)

(初日は各等割引料金)

◇出演者

病氣其他の事故にて出場不可能の場合には乍勝手
代役にて相勧めますから豫め御諒承願ひます。

お下足の用意は御座いますが
靴草履はそのまま御入場出来
ますので御便利です。

樂文座 四橋ツ畔

{番八八七三〇三一七四} 75 南話電
番二二三七一

座

例吉

霜月顔よせ興行
人形淨瑠璃

日初日一 月十一

演開半時二後午 日初
演開時三後午 日平



樂文座

第一 条仙人吉野花王

吉野山の段

糸 王 豊竹 和泉太夫

花 増竹本 七五三太夫

大伴坊 竹本 長尾太夫

安曇坊 竹本 伊勢太夫

ラ 豊竹 千駒太夫

花 竹本 隅若太夫

大伴坊 吉田 小兵吉

花 増桐竹紋十郎

(人形役割)

第二 傾城阿波の鳴戸

順禮歌の段

切竹本重太夫

豊澤廣助

鶴澤友三郎

鶴澤德若

鶴澤廣若

鶴澤友三郎

鶴澤德若

鶴澤清二郎

鶴澤清二郎

(人形役割)

第三 義士銘々傳

(人形役割)

百姓彌作吉田榮三
女房おかや吉田小兵吉
萱野和助吉田文作
狸の角兵衛吉田玉藏造
大星由良之助代官吉田玉藏
奴代官吉田玉藏
切竹本大隅太夫
鶴澤仙糸

文樂人形圖解 其二十八

齋藤清二郎解説並繪

(轉載)

彌作鎌腹の段

虎王 代官七太夫 (義士銘々傳・彌作鎌腹)

髪 ごま 油付、へいだ、武士まげ
かしらの動き アオチ、ヨリ眼の二つ

虎王とは享保十年九月竹田出雲作 竹本座初演大内裏大友眞鳥の虎王からこの名が出ました。惡逆、謀叛、返り忠などを性根とする老けた敵役の舅頭であります。

夫 (假名手本忠臣藏) 三河屋儀平次 (夏祭浪花鑑) 土師兵衛 (菅原傳授手習鑑) 及び宇佐見五右衛門 (伊賀越道中双六) 等に流用されます。



第四 日本賢女神鑑

天守の段

日 豊竹 常子太夫

野 豊竹 宮大夫

奥竹本住太夫

野 豊竹 喜代之助

鶴澤一郎右衛門

腰元 橋本

大場三郎吉田光之助

妻 梓の戸吉田光之助

和田兵衛秀盛吉田文五郎

宇治の方桐竹政龜

吉田多三郎吉田玉市

吉田利男米次郎

吉田可助吉田榮三郎

吉田大吉田榮三郎

第五 新曲紅葉狩

(人形役割)

片岡忠義の段

切 豊竹古韁太夫

鶴澤清六

腰元 小幡吉田光之助

妻 梓の戸吉田光之助

和田兵衛秀盛吉田文五郎

宇治の方桐竹政龜

吉田多三郎吉田玉市

吉田利男米次郎

吉田可助吉田榮三郎

吉田大吉田榮三郎

第六 壺坂觀音靈驗記

(人形役割)

琴翠

元 竹本常子太夫

腰元 豊竹本常子太夫

腰元 平維茂

腰元 實ハ悪鬼

腰元 鈴野吉田兵二郎

腰元 重野吉田兵二郎

腰元 神桐竹紋十郎

腰元 静野吉田兵二郎

腰元 平維茂

腰元 吉田兵二郎

第七 金剛力士

(人形役割)

この虎王も初代吉田玉造の舊藏品、文樂座に古くから保存されてゐる名作で主として世話ものに用ひます。

現在の主な役柄は、斧九太